

新幹線を生かした観光を

大藪 健介 議員



新幹線の試運転始まる

問 観光への取り組みは。

市長 今データベース事業や5市2町で作っている広域観光推進協議会、ちっこ地域広域観光連携開発事業等に積極的に参加し、魅力的な情報の発信と観光ルート

問 データベース事業とは。

商工観光課長 専門の事業者が市内の文化財、観光資源などの情報を収集し、データ化し筑後市の魅力を情報発信する事業だ。

問 新幹線駅を核とした、広域観光ルートの開発を。

市長 市は温泉施設を整備

し、温泉施設の隣には、矢部川流域の物産を取り扱う施設、県営の公認プール、文化交流施設など様々な施設が整備される予定であり

5市2町で協議し、駅を活用した広域観光の推進に係機関と連携し取り組む。

問 新幹線駅までの公共交通の乗り入れは。

建設経済部長 二次交通については現在、西鉄、堀川バスと協議中である。

問 市が掘っている天然の温泉とすずめ湯の今後の活用はどうするのか。

商工観光課長 天然温泉、

すずめ湯この二つの魅力的な温泉の相乗効果を生かせるように取り組む。

問 企業誘致が難しい今日観光推進へ力をいれ、商業

の活性化を目指すべきでは。

市長 筑後市の元気づくりには、新幹線筑後船小屋駅、県営公園内の各施設、また今市が掘っている温泉施設とすずめ湯等をいかに生かすかが重要である。今後、何をどう進める事が効果的か、関係機関と十分協議し、観光推進に力を注ぐ。

行政事業の民間委託で 財源捻出を

中富 正徳 議員

問 学校給食調理業務と職員

の雇用現状はどうなっているのか。

市長 調理業務のあり方について、議員や市民から問題提起があっている。どこの自治体でも調理業務を民間委託している訳ではないが、筑後市においても検討すべき課題として認識している。

問 なぜ市立病院の給食は民間委託したのか。

市立病院事務局長 医療職でない職種は極力抑え、看護師等の人員増に力を入れる為、平成14年度から給食業務は全面民間委託したが、何ら支障は起きていない。

**先送りせず
もっと早く結論を**

問 市立病院は、給食の民間委託をしているが、学校

はしないのか。

総務部長 まず退職者を補充しないで、37名いた職員を20名に削減予定をしている。一気に委託というところまでは、これまでの経過の中で進んでいなかった。

確かに行政の民間委託等で遅れてきた感はあるが、今検討に入った段階であり、今後、一定説明できるように結果を出したい。

市長 公的関与のあり方検討委員会の中で、学校給食業務について、十分議論し市民の納得頂ける方策を見出したい。

**給食調理業務人件費
年間正職員1人あたり
900万円
臨時職員280万円**

学校教育課長 給食職員数、

正職員25人で人件費2億2、430万円、臨時職員12人で人件費3、340万円である。また21年度給食実施日数、小学校191日、中学校178日、休み期間は、夏20日、冬と春2週間、運動会や遠足などがある。その期間出勤し大掃除や日誌作成、パソコン研修等をしている。



市立病院民間委託の給食現場